

病院からのお知らせ

介護保険での訪問リハビリテーションを開始します。



当院リハビリテーション科では、2022年1月から開始している医療保険での訪問リハビリテーションに続き、2022年5月より介護保険での訪問リハビリテーションを開始いたしました。医療保険での訪問リハビリテーションではお伺いすることが難しかった介護保険を利用しての方への訪問リハビリテーションを実施することが可能となります。

介護保険を利用されている方で、「自宅でのリハビリテーションの方法がわからない」や「通所サービスが開始されるまでの能力低下が起きないようにしたい」といった退院後の生活に対しての不

安や心配がある方、「自宅で安全に生活するために環境設定や介助方法のアドバイスが欲しい」など在宅生活の中での心配事がある方は、担当のケアマネジャーにご相談ください。

当院退院後の生活動作指導や環境設定、在宅生活の中での不自由や心配に対して、リハビリテーションの観点からの評価・練習やアドバイスなどを行い、より良い在宅生活が送れるようにお手伝いいたします。

利用される方の状態に合わせ、対象となる方がその人らしく生活していけるよう、ご本人・ご家族・担当ケアマネジャー・訪問担当理学療法士が相談をしながらリハビリテーションの目標や回数設定を行い、ある程度の期限を定めてリハビリテーションを行っていきたいと考えています。

当院の訪問リハビリテーションは医療保険、介護保険共に始めたばかりですが、できる限り地域の皆さまのニーズに応えていきたいと考えていますので、ご活用いただけると幸いです。

当院看護師による人命救助

令和3年12月に上越市内で発生した住宅火災で住民の方の救助・応急手当を行ったとして、当院の看護師今井長子さんが上越消防署から感謝状、本会JA新潟厚生連から表彰状が授与されました。



右：当会田中納次理事長

地域に開かれ、親しまれる病院をめざして

みてふんない

けいなん通信 Vol.5

2022年

ご自由にお持ちください

6月号

特集

平野病院長インタビュー

- 内視鏡の紹介
- 新人紹介
- 職場紹介
- 教えて、小川先生
- レシピ紹介
- 患者さんアンケート結果
- 病院からのお知らせ



写真投稿by__aki16__

写真が好きなんです。

その他2名の方より作品提供いただきました。
ありがとうございました。

表紙を飾る写真・イラストの
作品を募集しています！

詳しくは病院ホームページをご覧ください。



採用者には
粗品を進呈
いたします



おなじみの健康と心の通じ

JA新潟厚生連

けいなん総合病院

けいなん総合病院季刊誌「みてふんない けいなん通信」2022年6月号
けいなん総合病院 発行人 病院長 平野 正明 〒944-8501新潟県妙高市田町2-4-7

TEL:0255-72-3161 (代表) FAX:0255-73-8102 E-mail: info@keinansogo.jp



笑顔に、健康に、そして幸せに。

今年4月、新しく病院長に就任した平野正明病院長。

自身の経歴からこれからの抱負、地域の方々に向けてのメッセージと今の思いを語っていただきました。

—医師を目指したきっかけを教えてください。

幼少期に、身内が病気になったのがきっかけでした。その時に担当していただいたドクターの姿がカッコ良くて、憧れを抱いたのです。さらに中学生の時に読んだ「がん回廊の朝（柳田邦男著）」で、その思いは強くなりました。国立がんセンターを舞台にしたノンフィクションだったのですが、今でも手元にあるほど感銘を受けた一冊です。

実は、高校時代の成績が振るわず現役での医学部合格は果たせませんでした。浪人時代、まわりの友人たちの心強いバックアップはもちろんですが、続編として発売された「がん回廊の炎」の存在がとても大きかったです。挫けそうな時には、何度も読み返し、モチベーションを高めました。この

二冊との出会いが、消化器内科医を目指す道しるべにもなったのです。

—けいなん総合病院消化器内科の特徴を教えてください。

私の出身の金沢大学内科教室の教育方針が



けいなん総合病院
病院長
総合内科・
消化器内科
平野 正明



経歴：1971年生まれ。糸魚川市出身。金沢大学を卒業後、石川県・新潟県内の各病院でのキャリアを経て、2020年けいなん総合病院へ。2022年4月、病院長に就任。

「全人的医療の基盤を持って専門性を発揮できる優れた内科医を育成する」。消化器内科だからというよりは、全人的・総合的に患者さんを診療していくことが大切だと考えます。病気ではなくて、人を診る。消化器内科は、食べてから消化されるまでですから、そういった意味でトータルで人を診る科だと思います。2年前に赴任してきた時、専門医は私だけでした。それが今は、スペシャリスト2名が加わり、3名での内視鏡医体制。急性期病院に頼ることなく、治療ができるようになったのは大きな変化だと思います。

私たちが目指しているのは、早期発見・早期治療。そして敷居の低い内視鏡検査。苦痛の少ない検査をモットーに、患者さんのご要望に応えながら、気軽に相談できる科でありたいと考えます。

—病院長としての志を教えてください。

5つの「S」です。1つ目は「Safety=安全・安心な医療」。これは、何をおいても一番基本となること。この基本の上に、「誠実」、「親切」、そして「信頼」の3つのSを大切にしたいと考えます。誠実にスタッフが対応する病院。親切で小回りが利く地域密着型の病院。そして、信頼され選んでいただける病院。こういった病院を目指します。最後のSは、病院長就任の初日にある看護師さんにいわれ



たのですが、「Smile（笑顔）の溢れる病院」。この5つの「S」を大切にしていきたいです。

—病院長に就任して、職域はどう変化しましたか？

元々、臨床を通じて患者さんを診るという部分に変わりはなく、外来や病棟も担当させていただいています。大きく変わったのは、地域に貢献できる病院づくりを考えなければいけないという点です。自身が働く病院だけではなく、地域の他の病院やクリニック、介護施設、そして行政など、地域医療をどういう形で展開していくのか。今は、地域医療コースという言葉もあります。地域全体で病気を診る、完結していくために、けいなん総合病院の立ち位置を考えなければいけないと強く思っています。

—最後にメッセージをお願いします。

医療に携わるものは、患者さんの健康と幸せに貢献する職種です。そのためには、まず職員一人ひとりが健康で幸せでなければなりません。働きがい、やりがいのある明るく活発な職場を作り、頑張りが報われる職場にしたいと考えます。それが巡り巡って、けいなん総合病院を信頼し、選んでいただいた患者さんを、笑顔に、健康に、そして幸せにしていくことに繋がっていくと信じ、日々貢献して参ります。

内視鏡の紹介



今年度から内視鏡部門の運営がリニューアルされました。



常勤の内視鏡専門医が3人・消化器内視鏡技師が2人体制と専門スタッフの増員で非常に手厚くなり、地域のみなさまに積極的に内視鏡検査を提供できるようになりました。内視鏡検査は、どちらかというとつらい・苦痛であるといったイメージが定着し、依然として上部消化管造影検査（いわゆるバリウム検査）を受けられる方は少なくありません。しかし、内視鏡検査にはそういった不安や苦痛を上回る様々なメリットがあります。例えば①直視下と同レベルの画像情報がえられるのでバリウム検査に比し診断精度が格段に高い②癌の早期発見（診断）が容易であり、見逃しは極めて少ない③早期発見した場合は内視鏡治療で完治が可能

早期胃癌



この状況で見つければ内視鏡治療（内視鏡的粘膜下層剥離術：ESD）で完治可能

④バリウム検査で異常があった場合は結局上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）が追加精査として必要になります。

ますが、最初から胃カメラなら検査は1回で済むといった様々なものが挙げられます。また、当院ではそういったメリットをご理解いただいた上で尚、不安や苦痛を感じてしまう方々に対しても専門医や専門技師が柔軟に対応し、苦痛の少ない正確な検査の提供を目指しています。具体的には、①嘔吐反射が軽減される非常に細い経鼻内視鏡検査を積極的に施行

経鼻内視鏡と通常内視鏡の比較



経鼻内視鏡は通常内視鏡の約半分の太さになり、嘔吐反射が軽減される。

②専門医・専門技師の豊富な経験により迅速な診断が可能となり、結果として検査時間が短くなる③どうしても

苦手という方には鎮静対応などの対策を講じて、安心して検査を受けていただける環境を整えております。

また、昨今増加傾向にある大腸癌に対しても積極的に下部消化

管内視鏡検査（大腸カメラ）を施行しています。最近では画像検査の進歩によりCTコロノグラフィー（CTC）が開発され、大腸カメラ以外にも小さなポリープ（腺腫・早期大腸癌など）が発見可能となりました。しかし、上部消化管と同様にCTCで異常が見つかった場合も、結局大腸カメラによる精密検査が必要になりますので、最初から大腸カメラなら検査は1回で済みます。大腸カメラに於いても、前処置がづらい・検査中に痛みや膨満感などの苦痛があるといった様々な不安を持たれるケースがあり、残念ながら検査自体を嫌煙し、結果として血便などの有症状を来して進行大腸癌として発見されるケースは少なくありません。質の高い大腸カメラを提供するためには胃カメラ以上に専門性と経験が必要になります。当院では豊富な経験を有した専門医が対応することで、より苦痛が少なく質の高い大腸カメラを地域の皆様に提供し、結果として大腸癌の罹患率・死亡率の低下に寄与したいと考えております。

早期大腸癌



内視鏡治療（内視鏡的粘膜切除術：EMR）で完治可能

進行大腸癌



手術が必要

内視鏡検査の最大の恩恵は全く無症状の早期癌の発見です。専門医・専門スタッフの拡充により、早期癌に対する内視鏡治療も対応可能となりました。

早期胃癌に対するESD



入院は1週間程度

大腸癌の前癌病変である大腸ポリープ（腺腫）に対するEMR



低頻度の合併症（出血・穿孔）回避のため 当日1泊安静入院

けいなん総合病院 2022年度 新人紹介

地域の皆さん
よろしく
お願いします！



内科部長

内科常勤医として
着任いたしました
山川雅史です。

専門は内視鏡診療です。県立中央病院に消化器内科として11年間勤務し、今年度から配属となりました。地域の皆様の健康管理をガッチリ支えられるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いします。



山川 雅史 先生

看護師

5階病棟に配属と
なりました
佐藤泉実です。

患者様により良い看護を行うため、先輩方にご指導を頂きながら日々成長していけるように精一杯頑張ります。よろしくお願い致します。



佐藤 泉実

看護師

4階病棟に配属と
なりました
増村奈緒です。

看護師として、患者様やご家族様、地域の皆様のお役に立てよう頑張ります。よろしくお願い致します。



増村 奈緒

看護師

4階病棟に配属と
なりました
上原佳穂です。

小さい頃からお世話になっている病院なので看護師として、地域の方々の支えとなれるよう一生懸命頑張ります。よろしくお願い致します。



上原 佳穂

看護師

5階病棟に配属と
なりました
高橋美有です。

患者様やご家族の本当の気持ちに寄り添い、相手の立場に立って考えられる看護師を目指し、先輩方からご指導を頂きながら日々成長していけるよう頑張っていきたいと思えます。よろしくお願い致します。



高橋 美有

調理助手

栄養科配属と
なりました
阿部優と申します。

一日でも早く仕事を覚え、おいしい給食を提供できるようにしたいです。



阿部 優

■定期人事異動の紹介 ※職種／職位／氏名／（前所属）

転入：看護部長兼看護介護部長 栗崎 裕子（上越総合病院）／薬剤部長 渡辺 一也（長岡中央総合病院）／臨床検査技師 樗澤 浩二／主任調理師 伊藤 剛（上越総合病院）／作業療法士 馬場 聡美（上越総合病院）／臨床工学士 村山 正樹（上越総合病院）
昇格：副看護部長兼外来師長 樗澤 晴美／看護部長 篠宮 友子（外来）／看護師長 古川 陽子（5階病棟）／主任看護師 笹口 由布子（4階病棟）／主任看護師 市川 千絵美（外来）／主任看護師 相浦 弘子（5階病棟）

職場紹介シリーズ 人工透析室



腎臓には、体に溜まった老廃物や水分を尿として外に出し体のバランスを整える働きがあります。その働きが悪くなった場合に人工的に腎臓の働きを行う血液透析療法が必要となります。

けいなん総合病院の透析室は、平成元年7月に開設し令和2年3月にはベッド数を38床に増床いたしました。多くの患者さんが週3回4時間の治療に通院しています。体調管理やお薬、お食事などについて伺い治療を行っていますが、日々の治療の中で四季折々の話題に花が咲き、時には患者さんに励まされながら業務を行っています。

透析室には医師、看護師、看護補助員、臨床工学技士のスタッフがいます。臨床工学技士とはあまり馴染みのない職種ですが、医療機器がいつでも安全に使用できるように保守や点検を行っている専門職です。透析室ではそれぞれのスタッフがお互いの専門性を発揮し連携して業務を行っています。これからもスタッフ一同、より良い透析治療が提供できるよう努めてまいります。

教えて、小川先生

ご意見箱に届いたお子様の質問やご意見に小児科小川先生がお答えいたします。



なんで予防注射をするのですか？ (1月号からの続き)

ご意見

回答

前回予防注射の大切な目的として

1. 重い病気にかからないために=個人を守る。
2. まわりの人にうつさないために=社会を守る。

の2点をあげました。今回は2のお話。風疹のお話です。

風疹は、前回紹介した麻疹とちがって軽い症状の病気です。

症状が軽いのに痛い思いをして予防注射するの？

それにはとても大切な目的があります。

先天性風疹症候群を防ぐという目的です。(わぁ!むすかしい漢字がならんで..)

お腹の中に赤ちゃんがいる人(妊婦さん)が風疹にかかるとお腹

の中の赤ちゃんも風疹にかかり、心臓病や目が見えない、耳が聞こえないなどの重い病気を持って生まれることがあります。お腹の中の赤ちゃんにとって風疹は決して軽い病気ではありません。

軽いどころか一生を左右するとても恐ろしい病気です。

予防注射がない時代(1970年代まで)は数年ごとに風疹の大流行が繰り返され、そのたびに大勢の先天性風疹症候群の子どもが生まれていました。

1965年沖縄県で風疹が大流行、年間360人にも及ぶ先天性風疹症候群の子どもが生まれました。これをなんとか防ぎたいという思いで風疹の予防注射が始まりました。

年月を重ね、多くの人が予防注射をして免疫をつけたおかげで風疹の流行は抑えられました。そうすることによって予防注射ができないお腹の中の赤ちゃんを病気から守ります。

元氣な赤ちゃんが生まれますように。風疹の予防注射はとても大切な役割を果たしているのです。



あったかトロトロ大根のスープ

●レシピ紹介/中山 悦子さん



寒い時期の大根でないと作れないスープです。妙高高原の大根はそのままゆでこぼさなくても食べられますが、気になる方は一回ゆでこぼし①から始めてください。

●材料4人分

大根…………… 350~400g
残りご飯…………… 180g
水…………… 4~5カップ
コンソメ…………… 少々
生クリーム…………… 大さじ2~3

●作り方

- ①大根は1cmくらいの厚さに切り、残りご飯と水・塩少々を入れて柔らかくなるまで煮る。
- ②冷ました①をミキサーに汁ごとかける。
- ③鍋に戻し、コンソメと生クリームを入れて弱火で温める。
- ④刻んだ大根の葉などのトッピングで仕上げる。



令和3年度接遇アンケート調査報告

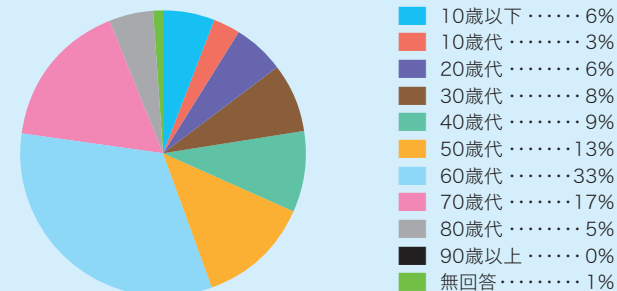
今回も大勢の皆さんからご意見を頂くことが出来ました。ご協力ありがとうございました。

皆さんからいただいた外来アンケート調査の結果を報告致します。

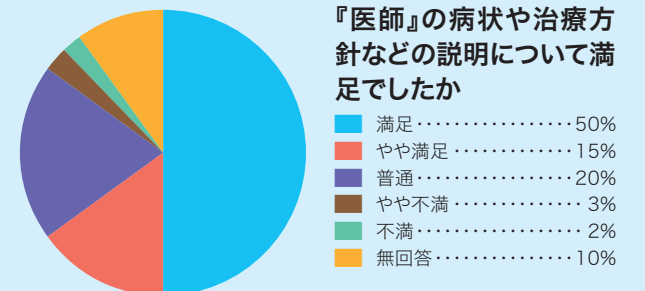
開催日と件数

令和3年12月16日(木): 81名
17日(金): 112名
計193名

年齢



職員の対応について

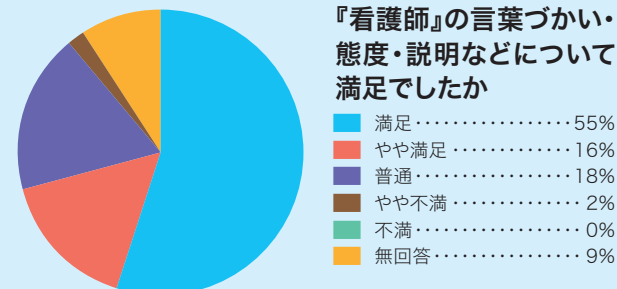


医師

『医師』の病状や治療方針などの説明について満足でしたか

看護師

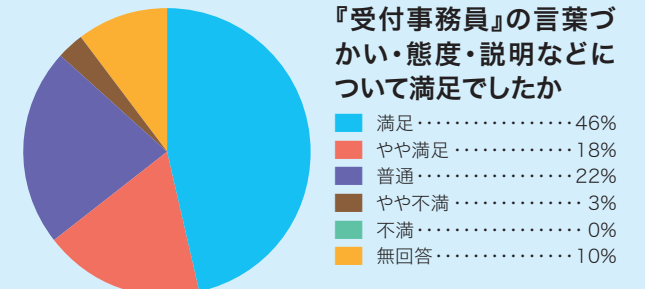
職員の対応について



『看護師』の言葉づかい・態度・説明などについて満足でしたか

受付事務員

職員の対応について



『受付事務員』の言葉づかい・態度・説明などについて満足でしたか

※四捨五入のため合計が100%でないものがございます。

改善を希望する御意見の一部を紹介します。

医師 病気の治療の説明が分かりにくい。
言葉使い等の接遇面を改善してほしい。
看護師 よく話を聞いてくれない。
言葉がきつい。
受付事務員 挨拶ができていない。また、説明が分かりにくい。
トイレ 採尿場所が分かりにくい。
回答 表示を検討し改善致しました。

駐車場 雪が降ると駐車スペースがなくなりました。
回答 冬期間排雪のタイミングを考慮致します。

駐車場 障害者用の場所が常に満車、
車椅子用の駐車場を増やしてほしい。
回答 障害者駐車スペースの拡張を検討中です。

待ち時間 予約時間より1時間以上待つときがある。
病院ホームページ ホームページを見て受診したが「風邪の来院時は電話をしてから来て下さい」と言われた。
ホームページにも分かり易く記載があると良い。
回答 トップページに表示、今後も調整していきます。

A T M 前の方が便利だった。記帳ができる機械にしてほしい。
非接触式体温測定器 朝8:00に来てても電源が入っていない。
また、感知に時間がかかる。
回答 現在24時間稼働
感知に関しては適宜動作確認を行ってまいります。

その他 会計時に混むと並び方が分かりづらい。
回答 現在の床に貼ってある表示にテープを貼り並び
場所を分かり易くしてみました。

その他 Free-wifiが使えるのでとてもありがたいです。
近くに病院があって助かる。病院の継続維持を期待します。

他、多くのご意見をいただきました。

ご指摘いただいた改善要望については、各部署で検討し取り組みを行っているところです。

今後ご利用者様に気持ちよく病院を利用していただくため活動していきますので皆さんのご意見宜しく願い致します。

接遇委員会 令和4年5月30日